

次号予告

特集 エージェント・ベース・モデリング

エージェント・ベース・モデリングへの招待	寺野隆雄 (筑波大学)
ランドスケープ理論とその適用	木嶋恭一 (東京工業大学)
ゲーミングシミュレーション	新井 潔 (千葉工業大学)
行動ファイナンスとエージェントベースモデル	高橋大志 (三井アセット信託銀行)
KK-MAS を利用した雇用政策シミュレーション	服部正太, 木村香代子, 織田瑞夫 (構造計画研究所)
エージェントベースモデリングによる問題解決—社会科学としての ABM に何ができるか—	出口 弘 (東京工業大学)

編集後記

●今回は、データ解析コンペティションの特集号である。企業からデータを提供していただき、マーケティング分野を中心とするOR手法の実効性を競うこのコンペティションも、今年で10年の歴史を刻み、巻頭文にもあるようにその広がりと深化には目をみはるものがある。インターネットの社会的普及、微細化技術の発展に支えられるコンピュータの超高性能化、データ・マイニングに象徴される大量データ分析ソフトの拡充等により、質と量を兼ね備えたデータを素早く低コストで市場から直接入手し、即座に活用できる時代となった。

●こうした環境の中で、ORはますますその重要性を増している。単に理論的成果を追い求めるだけでは、もはや時代の要請に応えることはできず、様々な分野で、より大規模な問題に現実的に意味のある時間内で解を与える手法の開発を進めることが何より重要であ

る。時として厳密な最適性を犠牲にしても、スピードと大雑把な趨勢を把握することが優先される時代と言えよう。

●実効性を保障する形でこうした方向性を追求するためには、現実の問題に具体的に取り組む経験を積み、社会的要請を正確に把握した上でORマインドに磨きをかけることが重要である。この観点からも、データ解析コンペティションの果たす役割は重要である。CRM展開の手法確立を目指す企業と実効性を追及するOR技術者との互惠関係を巧みに結合させたこのデータ解析コンペティションにより、多くのOR研究者を巻き込む形で、時代に適うマーケティング研究を進める環境が整えられたと言えよう。今回も力作が揃ったが、世界へ向けて情報発信するに値するCRM手法の確立を目指して、今後、ますます隆盛していくことを願わずにはいられない。(住田 潮)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆(国士館大学)

委員 井階美歩(㈱NTTデータ)、池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大村弘之(日本電信電話㈱)、岡田 勇(創価大学)、小沢利久(駒澤大学)、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス㈱)、土屋利明(日本電信電話㈱)、所 健一(財電力中央研究所)、中川義之(キヤノンシステムソリューションズ㈱)、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(㈱東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成16年2月号 第49巻 第2号 通巻518号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ